

指導員養成講習会(理論)

理論1～理論3 講習内容

SAK教育本部

【Web掲載用】 18日26日の講義内容は当日変更の場合がありますのでご了承ください

	講習会内容・主要課題
A(10/18 午前)	講義①:受検にあたって 指導と検定Part-2 資格制度と検定制度 講義②:スキースポーツ論 (スキースポーツ歴史的背景) 講義③:指導者理論 (求められる指導者像・スキー指導のあり方) 講義④:野外活動理論 安全知識と冬山の気候・地球環境 連絡事項:
B(10/18 午後)	講義⑤:指導方法論1 Chapter4 講義⑥:ハンディキャップの活動について 講義⑦:競技スキールールについて 講義⑧:指導方法論2 Chapter3 1回目(3本の矢)
C(10/26 午前)	講義①:スキー指導の安全知識 安全対策について (同時開催安全対策講習会) ・スノースポーツにおける事故防止と対策 ・事故防止と指導者の責任 ・簡易救急処置法 ・AEDの知識と使用方法
D(10/26 午後)	講義②:オフィシャルブック2015 研修会テーマ 講義③:指導方法論2 Chapter3 2回目(3本の矢) or 新教程技術論 講義④:スキー技術の指導 (実地指導の内容) (指導と検定 指導者に必要な基礎理論Chapter1~2)
E(11/15 午前)	講義①:理論A~D講習会のまとめ、試験問題の傾向について 講義③:自習学習時間
11/15 午後	準指導員 理論検定 各種連絡事項 雪上行事に向けて

単位の取得について

18日26日の講義内容は変更の場合がありますのでご了承ください

養成講習会（理論）（正・準・認定）

* 理論の単位取得は、集合学習6時間の受講が必要です。

A~Eの講義の内、3回の受講で単位の取得となりますので注意してください。
講義はそれぞれ2Hとなりますので、1.5日の受講が必要です。

* 指導員受験者のレポート提出は不要といたします。

（準指・認定の課題は理論にて連絡します）

レポート提出対象者は、単位受験者及び、初回受検者、認定スキー指導員受験者となります。

養成講習会（実技）（正・準）

実技講習の単位取得数は20時間です。2日間行事参加の場合、午前2時間＋午後2時間＝4時間×2日間＝8時間受講となります。20時間の単位取得には、養成講習会5日間の参加が必要です。

例としては、①北海道行事Aコースで5日間単位取得

②五竜Ⅰ（2日間）＋五竜Ⅱ（3日間）＝5日間

③2日間行事では、3行事への参加が単位取得には必要となります。

* 認定スキー指導員は、2行事に参加で単位取得できます。

詳しくは、SAKツール、またはHP手続要領でご確認ください。